

## 令和4年度 第3回 平塚市図書館協議会 会議記録（要旨）

開催日時	令和5年3月23日（木） 14時30分～16時15分
開催場所	平塚市中央図書館3階ホール
出席者	<p>委員 竹之内 禎 会長 久保田 幸子 副会長 山崎 奈穂美 委員 宮田 篤 委員 森谷 芳浩 委員 春木 俊秀 委員</p> <p>事務局 平井 社会教育部長、小林 中央図書館長 熱田 管理担当長 仁和 奉仕担当長 管理担当 : 杉山 主査</p> <p>指定管理者：市楽 総括責任者兼南図書館長、小泉 北図書館長、落合 西図書館長</p>
欠席者	なし
傍聴人	4名

### 1 議 事

#### (1)今期のテーマの検討

##### 振り返り

【 会 長 】 前回最初のテーマは、「視聴覚ライブラリーのあり方 報告書の提出」についてだった。「視聴覚ライブラリーのあり方」について協議してきた内容がまとまったので、報告書として中央図書館長へ提出した。図書館協議会としての結論は、「視聴覚ライブラリー」単体で機能を維持するのではなく、団体向けの利用サービスについては、一般部門へ統合するのが良いのではないかとご提案した。資料の整理や地域資料等については早急に媒体の変換をご検討いただくとともに、サービスの廃止に当たっては、利用団体などへのヒアリングを丁寧に行い、なるべく不利益を被る方がいないようお願いした。

次のテーマは、「貸出点数及び予約点数緩和のその後の検証」だった。予約資料の取置期限については、短縮を視野に入れているとの説明があった。各種運用の変更について利用者に理解を求めるとき、その根拠となるエビデンスを示さないと納得していただけないこともある。なぜ運用を変更する必要があるのか、数値として把握、分析、説明するようにはしていただきたいと要望した。また、情報利用環境も変わってきているので、より多くの人を読みたい本を早く読めるような環境を作ることを念頭に、電子図書館の取り置き期限等、適切な設定となっているかどうか、分析と検討を進めるように要望した。

事務局からは、令和4年9月市議会定例会の概要について御報告いただいた。以上が前回の振り返りとなる。

#### ア 貸出点数及び予約点数緩和のその後の検証

事務局から資料の説明を行った。（資料2～5ページ）

全体の貸出のうち予約件数は2割程度となっている。また、予約が20件以上入っている本は全体の3%程度、50件以上入っている本は0.5%程度、全体で見るとごく一部であることが

	わかる。県内図書館の状況を見ても、各市館や分室の数、運用が違うので一概に比較はできないが、平塚市の複本の数は、だいたい平均値となっていることがわかる。今年度、予約が100件以上入っている図書について、各館で2冊購入することにしたので、その動向などを見ながら引き続き検討していきたい。期限切れ件数（予約をしたが図書を取りに来ない件数）は、全館でおよそ2万点と推定される。このような状況を踏まえ、予約図書の取置日数を、令和5年度5月中旬から、現状の9日から7日に変更したいと考えている。
【 会 長 】	予約図書の取置日数を9日から7日に変更する点については、現実的で良いと思う。
【 副 会 長 】	周知はどのようにするのか。
【 事 務 局 】	館内掲示、ホームページ、ツイッター等で周知していこうと考えている。
【 副 会 長 】	貸出の際に窓口で周知をすることもお願いしたい。
【 事 務 局 】	窓口委託業者と協議して、窓口でも変更の旨伝える機会をつくりたい。それとは別に、予約資料が用意できるとお知らせメールを送信しているので、その文面等でも周知していきたい。
【 会 長 】	変更開始まで、2か月をきっているのですぐにでもお知らせしていただいても良い時期かと思うので御検討いただきたい。
【 事 務 局 】	承知した。
【 会 長 】	複本の話があったが、予約が100件以上の本に対し、各館で2冊購入することにしたとあるが、資料2ページをみると、予約50件以上の本は19タイトルしかなく、予約100件というところかなり絞られると思う。100件にした根拠をお伺いしたい。
【 事 務 局 】	100件を超えたらその時点で複本を購入しているのではない。予約の増加状況や各館の状況を加味して100件届かなくても柔軟に検討していきたい。
【 会 長 】	複本購入の基準は今年度の状況をみて引き続き検討ということなので、他市の例もお調べいただき、なるべくスムーズに本が手に渡るようお願いしたい。現実的に考え、予約100件だと6年待ち、予約50件でも3年待たなければならぬのでは、利用者にとってあまり意味のある仕組みではないと思う。
【 副 会 長 】	待ち時間があまりにも長いと、自分で購入する方や予約の順番がまわってきても取りに来ない方もいるのではないか。
【 会 長 】	そのあたりのことを踏まえ運用をご検討いただきたい。
【 副 会 長 】	個人的にもリクエストをよく利用しているが、人気の本は、リクエストだけでまわってしまうので、図書館に実際配架されることはない。複本を買うなら何冊かリクエストに回さないで図書館に配架する本等の対応を考えてもよいのではないか。リクエストを利用しない方もいるし、特に子どもはなかなかリクエストを利用しないと思う。子どもは実際に図書館にきて、本を見て、その本を読みたいと思う。運用は大変と思うが、図書館に読みたい本が並んでいるというのは大事だと思う。
【 会 長 】	その提案は、貸出も想定しているのか。
【 副 会 長 】	貸出も想定してよいと思う。
【 会 長 】	レンタルビデオ店方式とのことだ。
【 事 務 局 】	閲覧用で人気のある本を何冊か館内に配架しておくということか。
【 会 長 】	そういう意味ではない。予約の対象外の本を配架しておくという意味だということだと思う。

【副会長】	1館1冊、リクエストに回さない本を用意し、配架の対象とする。もし配架されていれば利用者は借りることもできる。図書館へ足を運ぶ人を尊重したいと考えている。
【会長】	新しい発想だと思う。
【委員】	システムのうまく処理できるのか、リクエストに回さない本と切り分けができるか検討する必要はある。予約が多数入った本をどのようにするのかは、他の図書館でも苦慮している点である。一方、複本の問題は、出版社や著作者から問題提起されるケースはあるので、他の自治体とある程度足並みをそろえておくという考え方もできるかもしれない。
【委員】	個人的にリクエストをあまり利用しないが、県内でも突出して複本をもっている図書館もあるようだが、そのあたりのことも気になる。
【会長】	資料からは読み取れない事情もあるのかもしれない。
【副会長】	複本をたくさん購入しても、ブームが終わった時にたくさん余ってしまうのももったいないかもしれないのでそのあたりも検討する必要がある。
【会長】	引き続き、平塚市にとってどのような運用がベストか探してほしい。ただ、子どもは実際に本がないとなかなか図書館に行こうとも、本を読みたいという気持ちにもならないと思うので、児童書については別枠でご検討いただきたい。
【副会長】	児童書の場合は、閲覧用でキープするのも一つの考え方だと思う。それだと運用としても難しくないと考えてるので、御検討いただきたい。
【会長】	システム上の問題だと思うが、閲覧用とすればシステム的には可能かと思うので、そのあたりを含めて検討していただきたい。 資料2ページの統計による調査分析に戻るが、地区館については記述があるが、移動図書館についてはまだ運行されているとは思いますが、特に資料に入っていないが、別枠での運用となっているのか。
【事務局】	移動図書館の車内にある本は予約対象外としているので、先ほどの委員の提案のように、運が良ければ人気の本に出会えるような運用をしている。4館と別の動き方をしている。
【会長】	将来的に移動図書館の扱いが変わる場合には、移動図書館の資料も一括管理に切り替わる可能性もあると思うが、そのあたりの検討はいかがか。
【事務局】	移動図書館が廃止された後の本の扱いをどのようにするのかはこれから検討する。
【事務局】	移動図書館だけでなく施設に本を貸し出す団体貸出用の資料も所有しているので館外サービス事業全体として、資料の扱いをどうしていくのか検討していきたい。
【副会長】	地区図書館の館長に現場の様子を伺いたい。予約が多い人気の本がなかなか回らないなど現場でのご苦労話など教えてほしい。
【事務局】	ドラマの原作になるなど、古い本が人気になったりもするケースもある。そういった場合は、出版状況からすぐ購入できないこともあるので、すぐに対応するのは難しいという面もある。
【事務局】	予約件数が多いと予約することすら諦める利用者の方もいる。限られた予算や出版状況からすぐに対応できないことも多いが、その都度状況を見て、できる範囲で対応していきたいと考える。

【 会 長 】	中央図書館と地区図書館では、予算の規模も違うと思うので、中央図書館の方で全体を把握し、中央図書館の予算で多く複本を用意するなどの対応もご検討いただければと考える。
【 事 務 局 】	北図書館は4館の中で1番資料数が少なく、いつきても読みたい本が貸出中のため書架にはない、予約を勧めても予約することを遠慮される方もいらっしゃる。窓口での声かけ以上に何ができるのか日々考えている。たとえ北図書館で新刊を購入したとしても、人気の本は棚に並ぶことなく他館にまわることも多いのが現状である。
【 副 会 長 】	取り置き期限を9日から7日に変更することに関してはどう考えるか。
【 事 務 局 】	令和4年度に予約資料お知らせ葉書の連絡を廃止したことに伴い、9日から7日という流れだと思う。利用者は、現在9日間取り置き期限があることを意識している方は少ないのではないかと。取り置き期限を7日間にして、予約図書を早く回す方が有効な事でないかと思う。窓口での対応は増えるとは思いますが利用者にとって丁寧に説明しご納得いただきたいと考える。
【 副 会 長 】	取り置き期限の変更については、問題ないと思う。
【 会 長 】	<p>団体用の資料も活用されない時期が長くあるとしたら勿体ないと思うので、利用頻度や回転があがるような資料の使い方ができると良い。そのあたりを含め平塚市図書館全体の資料の扱いを検討してほしい。</p> <p>今回の協議ではまだまだ不足していると思われるので、今後も貸出点数、予約点数の緩和については検討、及び検証を重ねていただきたい。利用実績、利用状況についてのデータ分析や、利用者からのご意見、ご要望の整理、必要があればその対応策まで踏み込んで、その結果、これまでと同じ運用を継続するのがベストだという結論であれば、もちろんそれはそれで良いと思うが、電子図書館や駅前配本所も開設されて、平塚市図書館の状況というものもかなり変化してきている。利用状況の把握等は地味で手間のかかる作業ではあるが、図書館が購入した資料が有効に活用されているかどうかは継続的な評価が必要な事案である。購入後の貸し出し状況等を把握し、分析し、改善へつなげていただくよう、再度お願いする。電子図書館の動向を含め、このテーマは継続課題としたい。</p>
<b>イ「視聴覚ライブラリー」の今後の運営の方向性</b>	
【 事 務 局 】	<p>令和4年11月の第2回図書館協議会の際、会長から「平塚市視聴覚ライブラリーのあり方」(報告)をご提出いただいた。視聴覚ライブラリーの今後については、「視聴覚ライブラリー」単体で機能を維持するのではなく、団体向けの利用サービスについては一般部門に統合する方向で調整していく。貸出用資料及び機材は使用可否を確認したうえで整理することを第一に、地域資料等貴重な資料は媒体の変換なども視野に入れ、検討を進める。また、利用団体へ対しては要望などを伺い、ニーズを把握していく。</p> <p>令和8年度以降の中央図書館大規模改修に向けては、「視聴覚ライブラリー」のスペースは今後より市民が利用できる形で広く活用できるよう検討を進める。今後も進捗状況など丁寧に図書館協議会へ報告させていただく。</p>
【 会 長 】	視聴覚ライブラリーを見学させていただいて、かなり膨大な資料を整理する必要があることがありそうだが、この中から貴重な地域資料を選んで媒体変換をするとすると、計画的に実施しなければ進まないと思う。既に何か取り組ま



	れていたりするのか。
【事務局】	16ミリ映写機の状態確認、クリーニング、16ミリフィルムの内容の確認、再生不可能な場合は廃棄の対象とし、地域資料については媒体変更できるか確認をはじめ、年度ごとに計画的に実施していく予定である。
【事務局】	媒体変換については、著作権の問題があり、古い16ミリフィルムに関しては、発行元が既に存在しない場合などもある。そういった場合はどうすれば良いのかという調査も並行して行っているところだ。
【会長】	後ほど次期図書館協議会への引き継ぎ事項等の議事でも取り上げるが、引き続き、「視聴覚ライブラリー」の機能統合へ向けて進めていただければと考える。

## (2)事務局報告

### ア 南図書館の改修に向けた利用者アンケート調査結果

事務局から資料の説明を行った（6～10ページ）。

南図書館は海岸エリアに位置し、「福祉会館」「デイサービスセンター」「町内福祉村」「花水公民館附属体育館」が併設される「なぎさふれあいセンター」の3階にある。建設から25年以上が経ち、施設改修の時期を迎えようとしている。今後の改修の参考とするため、アンケートをとったので、その結果を紹介させていただく。

アンケートは、令和5年1月5日から令和5年1月26日までの3週間の期間で、カウンターにて配布、回収ボックスに投函していただくスタイルで行い、117枚のアンケート結果が揃った。施設については、利用者は図書館をサードプレイスとして求めていることが確認できた。年代ごとに求める空間、静かな場所・くつろぐ場所・楽しめる場所等、はっきりと変わってくる。設備については、セルフ貸出機等のセルフ化を求める声が目立った。デジタル化は国や市の方針でもあるため、積極的に検討していきたい。サービスについては、カルチャー講座の開催など、図書館サービスの多様化を望む声も多く、生活に密着した課題解決型の図書館への転換が望まれている。書架については、全体として、書架の配置がやや過剰になっている状況である。一般書では、「小説等の文学」、「趣味・娯楽」に関する図書・雑誌のニーズが高く、未就学児は絵本、児童は読み物・教育・学習につながる図書のニーズが高くなっている。

施設についての自由意見としては、「子どもが騒ぐので居心地が悪く、利用しにくい。」「子どもと大人の区分けをハッキリしてもらいたい。」「カフェの併設」を求める意見が目立った。

また、全体に席数、学習スペースが少ないというご意見も多くあった。書架及び資料についての自由意見をみると、全体として、蔵書の維持・更新が充分でないといった印象となっている。今後書架のコンパクト化をしたうえで、持続可能な図書を購入することが必要である。改修に向けて、多くの要望のあった項目は可能な限り改修後に反映できるよう努めていきたい。南図書館のフロア構成上、ハードでの大規模なエリア分けは困難なため、運用面でのエリア分けも含めた検討をしていきたいと考える。

【副会長】	改修後もデイサービスや町内福祉村などと共存する施設の形態は変わらないのか。
【事務局】	現在施設全体の改修については、別セクションで検討しており、図書館としては図書館に関する要望を投げかけているところである。図書館は現在と同じ3階部分のフロアになる予定ではあるが、施設全体のことについてはもう少しお待ちいただければと考える。
【会長】	個人的に南図書館を利用したことがないが、他の自由意見を見ると、「中央図書館の改修、全面改築を望みます。」という意見もあるようだ。

【副会長】	南図書館はまだ新しくきれいな印象があるので、もう改修する時期なのかと思った。南図書館は個人的に以前からよく利用しているが、子どもと大人が共存しているのでお互い気兼ねする空間となってしまっているかもしれない。決して狭い空間ではないので、例えば間仕切りを利用して子どもと大人の空間を分けるなどしてお互いが気兼ねしないよう、検討していただければと思う。
【事務局】	南図書館は、ワンフロアのため、子どもと大人が同じフロアを利用することになるが、ゾーニングを検討して色々な世代の方が気兼ねなく使える空間としていければと考えている。
【副会長】	いかに子どもと大人の空間を分けるのが、南図書館の1番の課題だと感じる。
【事務局】	今回の改修に向けて、担当課へ要望は挙げている。児童と一般を分けた方が良いのは明確な事実であるが、決して狭いスペースではないが、実際おはなしのコーナーと書架をどのようにわけるのか等を検討していくと壁を作ったりする必要があるのではないかと等構造上難しい部分も出てくるのではないかと感じる。現場からの要望はしっかりと挙げていきたい。
【委員】	有料でも良いという意見が結構ある。図書館の役割は、窓口だと考える。図書館は、どんな本があるか気づける気づきの場だと思う。そういった意味で開架式書庫が増えているのだと思うが、図書館に、本を買う窓口があっても良いのではないかと考える。図書館の中に書店が入り、欲しい本を買うことができれば良い。先ほどの予約本の話だが、6年待ちというのは実際、非現実的であり、本当に読みたい本は自分で買ってしまふ。どこへ行ったらその本が買えるのか、どういう内容なのか図書館の中で見ることができ、実際に購入までできる有料サービスを提供してほしい。今のIT技術では簡単な事のように感じる。図書館の公的な役割の一つとして、本が買えたりする有料サービスもあって良いのではないかと考える。
【会長】	オンライン書店を利用できる方はそういったサービスも利用できる。
【委員】	オンラインで購入しない層、例えばお年寄りなどに向けたサービスとしても良いと思う。
【副会長】	自由意見の中に「たくさん本を借りるのでカゴがあればうれしい。」というのは南図書館に限らず他館でもすぐにでも導入してほしい。今後コロナがおさまれば前向きに運用を検討していただければと考える。
【会長】	調布市立図書館では、カゴが置いてある。町田市立図書館では、カゴとカートが置いてあったはずだ。他市の事例もみながら検討していただければと考える。
【事務局】	スーパーの買い物カゴを導入している図書館もあるというのは把握している。
【副会長】	利用者の一人として、大きなカゴでなくても良いので、設置していただけると非常に助かる。
【事務局】	先ほどの委員の意見にもあったが、図書館と書店の連携も最近導入が進んでおり、海老名市立図書館は指定管理者制度で運営されているが、1階に書店が入っている。地域の書店がどんどんなくなってしまってきているので、書店と連携して事業を行うような図書館について、研究していきたいと考える。

## イ 中央図書館1階ロビーこども室のレイアウト変更

事務局から資料の説明を行った（11～15ページ）。

蔵書点検による休館明けの令和5年2月17日（金）から、中央図書館1階のロビーとこども

室をリニューアルした。これは、令和3年に策定した「これからの平塚市図書館運営のあり方」の中で「滞在型図書館の導入」を目標に掲げているので、それに基づき実施したものである。

まず従来からある課題について、1階ロビーは、静かで暗い雰囲気があり、こども室の入り口も入りづらい、図書館での休憩場所がない、図書館協議会においても、1階ロビースペースの活用を検討するよう意見があり、利用者アンケートからも要望は複数あった。子育て層からは、清潔な授乳室の設置やこども室内における一定のエリア分けの要望、席数の確保などもいただいていた。またこども室入ってすぐに紙芝居のスペースが多くを占めているが、「紙芝居を利用するのはボランティアが多く、入口に紙芝居があると子どもは利用しづらいのもったいない」という意見を、ボランティア・図書館関係団体からいただいている状況だった。このような課題を踏まえ、今回のリニューアルを実施した。ターゲットについては、こども室利用世代及び中高生とし、ロビーにお子さま向けエリアと一般エリアに分けた簡易の軽食をとれる休憩スペース及び設置型ベビーケアルーム「mamaro」の設置、こども室内のゾーニングとして多少にぎやかにしてもOKとする親子向けエリアと読書エリアの区分け、お子様と一緒にご利用いただける洋式トイレを設置した。なお、今回設置した机や椅子、ベンチについては、森林環境譲与税を活用して購入した。今後も様々な財源に注目し、施策を実現させていきたいと考える。

【 委 員 】 今回のリニューアルについて、大変良い取り組みだと思う。ららぼーと等でも、本を読みながら飲み物が飲めるスペースがあるので、今回のロビーのリニューアルが、本に親しむ機会へ繋がるのではないかと感じる。汚れへの心配やコロナの関係等課題もあるとは思いますが、楽しい雰囲気づくり、入りやすい居心地の良い空間となっていけば良い。本校の図書室の例をとると、子どもたちの利用は今年1年間でコロナ前までに復活したが、いかに図書室を明るくて入りやすい環境とするのかという学校司書の努力によるところも大きい。今後南図書館でも改修があるので、今回のような取り組みを含めたうえで検討していただきたい。

【 会 長 】 居心地が良いと読書も進むということだと思う。

【 事 務 局 】 今回の取り組みは、中央図書館も今後改修の予定があるので、その際にどのようなコンセプトで改修をするのかを検討する際の実証実験的な意味も含めて行っている。現在「滞在型図書館」という流れが非常にクローズアップされているので、今回の利用状況を今後検証していきたい。

## ウ 事業報告(中央図書館・地区図書館)

中央図書館の事業報告を事務局から資料の説明を行った(16~19ページ)。「やさしい相続・遺言講座」については、大変好評だったので、他課との連携なども視野に次年度以降も継続して実施していきたい。

地区図書館の事業報告を事務局から行った(20ページ~24ページ)。

北図書館では、神田中学校区子ども読書推進協議会と共催して、地域の小・中学生がよみ手として参加するおはなし会を行った。また、「コーヒーの楽しみ方講座」については、飲食を伴う講座の開催は図書館では珍しいと思うが、神田公民館と併設されているため公民館の調理室を利用して開催することができた。平塚市図書館の掲げる「お役立ち図書館」として利用者の抱える課題解決(お家でもっとおいしいコーヒーをいれるためにどうすればよいのか)に繋がることを念頭に講座を企画した。公民館だより等をとおして募集したが、地域の方にも大変好評だった。

西図書館では、「ぬいぐるみおとまり会」として、おはなし会の場にお気に入りのぬいぐるみを持ってきて寝かしつけ、閉館後の図書館をぬいぐるみが冒険しその様子をアルバムにおさめ、翌日プレゼントとした。広報した段階で大変反響があり、次回を望む声多かったので、今

後広く参加していただける方法を検討したい。また、「健康づくり講座」では、初の大人向けの講座として実施した。図書館は気づきの窓口という話もさきほどあったが、どのような世代も受け皿になれるのが図書館の良さだと思うので、今後も生涯学習の場として図書館の利用へ繋がるような企画を実施していきたい。

南図書館では、「ビブリオバトル」として、コミュニティ型（少人数でテーブルを囲んで、参加者全員が本を紹介し合うスタイル）で行った。参加者を募るのは苦戦したが、参加された方の満足度は高い事業となった。また、「押し花・押し野菜で飾るランチョンマット&コースター講座」では、同施設の会議室を借りて実施した。南図書館での体験イベントを今まで実施していなかったのが、体験できて楽しい、今後も有料でも良いので講座を開いてほしいという声があった。南図書館内ではイベントスペースがないので、いつでも事業を実施できる訳ではない事情があるが、今後も状況をみながら実施していきたい。

【 委 員 】	ビブリオバトルについて、前もってレクチャーはあったのか。
【 事 務 局 】	ビブリオバトルの概要を伝え、最初に職員が見本として実演した。実際に取り掛かると、どの児童もスラスラとでき、大人が考えるほど子どもは緊張しないようだ。
【 委 員 】	学校図書館は学校司書が配置され、それぞれの強みを活かして運営している。本の紹介が得意な方、POP等の飾りつけが得意な方等色々いらっしゃるが、ビブリオバトルができる方は少ない。子どもたちにもビブリオバトル事体浸透していないというのは現状としてある。今後、ビブリオバトルが学校現場でも広がっていくのが大切だと感じる。貴重なイベントをしていただき、感謝申し上げます。
【 副 会 長 】	西図書館のぬいぐるみお泊り会について、もう少し受け皿を広げることはできないか。
【 事 務 局 】	今回初めての試みとして定員を絞らせていただいたが、閉館後に写真を撮ってアルバムにまとめて翌日お渡しするなど、事前に準備できない作業が入るのでなかなか難しい。今回は6組9名の参加があり、やはり10名程度が定員の上限かと感じた。
【 副 会 長 】	アルバムはどのようなものか。
【 事 務 局 】	4枚の写真を載せたものである。
【 副 会 長 】	例えば4枚の写真を1枚に簡素化してでも、参加したい方が参加できるように検討していただきたい。また、他館でも同様の取り組みを行っていただくと良いと感じた。
【 委 員 】	アルバムではなく、写真たてにしても良い。
【 会 長 】	ぬいぐるみお泊り会は、他の図書館でも実施されている。
【 委 員 】	ぬいぐるみお泊り会のようなイベントは全国的にも広がりつつある。
【 会 長 】	直営だと、勤務時間の問題などもあるので、なかなか実施できないのかもしれない。指定管理者制度が導入されたメリットで実施できたイベントかもしれない。

### (3)委員提案

【 委 員 】 令和8年度以降の大規模改修に向けて、さきほど滞在型図書館の話もあったが、図書館には今、単なる読書施設以上の幅広い役割が求められている。「平塚市図書館運営のあり方」を見ると面積縮減も視野に入れているとなっているが、なるべく広い空間がとれるような改修を実施してほしい。令和8年度というとだいぶ先の話に思えるが、設計の中に図書館の考えを盛り込むなどを考え



	るとそう先の話でもないので、早めに準備をしていただきたい。また設計を検討するにあたっては、視察などを行い、他の図書館の事例を参考にしてほしい。直接施設をみると、そこから見えてくるものも大きい。積極的に色々な図書館を見学してほしい。
【事務局】	設計期間も必要なので、期間があまりない。今年度は建物の劣化度調査を実施したが、図書館としてどうしていきたいのかをしっかりともち、反映させていきたい。公共施設の維持管理に相当費用がかかっているのが現状で、その中で市全体として合築や面積縮減を視野にいれるような市全体の方針があるので、検討しないわけにはいかないが、なるべく図書館に求められている機能を最大限果たせるように訴えていきたい。他の図書館への視察についてだが、コロナ禍でなかなか実現できなかったが、3月には目黒区と中央区の図書館の視察をした。今後も可能な限り特徴ある図書館を視察して改修へ反映させたい。
【副会長】	各中学校区子ども読書活動推進協議会についてだが、コロナ禍で活動が制限され、活動が思うようにできていない。先生方も異動等あり、コロナ前のことを知っている先生もいなくなり、学校との連携が難しくなっている。子ども読書活動代表者会議が開かれても、学校関係者の出席もないので話し合う機会もないので、校長会等いろいろな場を利用して、連携を是非訴えてほしい。学校が読書ボランティアに求めるもの、求めないもの等、学校と読書ボランティアの意見交換ができるような場も欲しい。
【事務局】	各中学校区子ども読書活動推進協議会の事務局は中央図書館が担っている。中央図書館の方で校長会などへ出向き、しっかり説明する必要があると認識している。中央図書館の方で多方面へ働きかけをしていきたい。
【委員】	平塚市図書館の統計を確認すると、平塚市図書館は広域利用の数が少ないと思う。広域利用できる市町村が増えれば、予約本の融通もきくのではないか。他の図書館を参考にしたらという話もあったが、伊勢原図書館は、書架が低くて見通しが良いので参考にしてほしいと思った。
【事務局】	広域利用については、県央地区や湘南地区等地域の違いの影響もあるかもしれない。本は貴重なものとして書庫にしまって必要なものをだしてくる等の運用をしている時代もあったが、最近の図書館については、例えば小田急百貨店に併設されている藤沢市南図書館等も書架を低くし使いやすくなっている。平塚市図書館は高い書架が多いので、改修の中で使いやすい図書館にしていきたい。

#### (4)次期図書館協議会への申し送り事項等

会長から資料の説明を行った（25～26ページ）。

今期図書館協議会は、協議会委員の任期は7月までだが、会議は今回が最後となる。今年8月に発足予定の次期図書館協議会で検討していただきたい内容等を事前に副会長ととりまとめた。追加案件等があったら資料説明後に伺い、次期図書館協議会への引継ぎ事項としたい。

①「平塚市視聴覚ライブラリーのあり方」（報告）について、実施状況について、図書館協議会の場でも報告を行っていただき、進捗をチェックしていただきたい。②貸出点数及び予約点数緩和のその後の検証結果と今後の取組について、今後、貸出点数、予約点数の運用を変更する際には、利用者の方たちに不利益が生じないように、周知を速やかに、かつ丁寧に行った上で実施するようお願いする。市民が読みたいと思う本が図書館でスムーズに読める環境をつくるよう、今後も継続課題として検討、検証していただきたい。③学校図書館との連携等につい

て、今期図書館協議会の中で、電子図書館と学校のタブレット端末との連携についての提案があったが、次期協議会においては、具体的な一歩を進めるための協議を進めていただきたい。

④ 地区図書館3館への指定管理者制度導入後の運営の検証について、令和4年度に地区図書館3館へ指定管理者制度が導入され、「閉館時間が午後5時から午後6時までに延長された」、「月末館内整理日も開館するようになった」、「市内の小中学校の夏休み期間中の月曜日は休まず開館するようになった」という報告があり、また、市民向け講座もかなり積極的に取組をされている印象である。今後、中央図書館と地区図書館との協力体制が十分発揮できるように、引き続きご留意いただきたい。

⑤ 図書館増収策の検討と運営コストの見直しについて、平成30年度には図書館協議会からの提案を受け、平塚市図書館マスコットキャラクターぶくまるのLINEスタンプ販売を開始していただいた。令和4年度は、森林環境譲与税や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を利用し、1階ロビー及びこども室のリニューアルをしていただき、感謝申し上げます。今後も幅広い財源確保、増収策の検討をお願いしたい。また、令和4年度から「予約資料お知らせ葉書」を廃止し経費が削減されたと事務局から報告があったが、引き続き、業務の効率化によるコスト削減に努めていただくようお願いする。

⑥ 改修に向けて、今までいただいている市民意見をできるだけ反映するような施設としていただきたい。一昔前は、席貸しは図書館の役割ではないという考えもあったが、最近では滞在型図書館のニーズが高まっているので、自習スペースの提供なども図書館の役割として積極的に検討してほしい。

⑦ 「これからの平塚市図書館運営のあり方」及び意見書への対応について、「これからの平塚市図書館運営のあり方」の中の重点目標、重点取組についても計画的な実施をお願いする。中央図書館の改修や移動図書館の廃止については、特に市民の方たちの関心が高い事案と考えられるので、図書館協議会においても随時状況をご報告いただくようお願いしたい。

【 会 長 】 ほかに何か委員からご提案はあるか。

【 事 務 局 】 ⑤の補足として、令和4年12月に西図書館の自動販売機を設置したので、追加したい。

【 委 員 】 ③について、学校図書館の連携等の項目について、小学校を対象としているが、ぜひ中学校も対象に追加してほしい。中学校でも図書館の資料を利用した学習も多く実施している。学校図書館だけの資料では不足するので、可能であれば中学校も対象としてほしい。

【 会 長 】 小・中学校タブレット学習への連携へ訂正する。以上の訂正を加え、次期図書館協議会への申し送り事項としたい。今期最後の会議となるので委員からひと言ずつお願いしたい。

【 委 員 】 図書館協議会の委員となり、図書館運営のことを考えることで、市民の図書館へ対する期待等を含め、図書館の存在の大きさを改めて感じた。図書館は心の拠り所となる場所だと思うので、より多くの市民の心の拠り所となるよう、今後の図書館に期待している。

【 委 員 】 中央図書館は専門書が揃っており、教員としても利用させていただいていた。中央図書館に来れば、東海大学の蔵書も借りることができるサービスは非常に有難いし、もっと広がってほしい。図書館運営について様々検討していることがわかった。今後も図書館運営に大いに期待する。

【 委 員 】 県立図書館の職員として参加したが、住民に近い図書館の実情を知ることができた。市民に寄り添い、図書館運営について丁寧に議論されていることがわかり参考になった。県立図書館として支援できることがあれば引き続き協力したい。

【 委 員 】 図書館協議会に参加できたことで図書館運営の裏側を知ることができ勉強に

	<p>なった。図書館や書店はその国の文化である。その意味でも日本はすごいと思うし、様々な問題をいつも真剣に検討されておられる図書館の方々を誇りに思う。</p>
【副会長】	<p>読み聞かせボランティアとしての活動は15年目となる。図書館を内側から協議し良くしていこうと真剣に協議した2年間は宝物である。また、指定管理者制度も導入され、各館が工夫して魅力的な図書館になったと非常にうれしく思うと同時に感謝申し上げる。</p>
【会長】	<p>2年3期6年、これで最後となる。毎回事務局の迅速な対応に感謝申し上げます。今後も平塚市図書館の1サポーターとして何かできることが応援お手伝いしたい。</p>
<p><b>閉会</b></p>	
【事務局】	<p>今期図書館協議会では、「平塚市視聴覚ライブラリーのあり方」について御協議いただき、報告書にまとめていただいた。本日が今期最後の会議となる。任期は令和5年7月31日までとなる。2年間、感謝申し上げます。</p>